



あなたの声をリレーする



「鶴ヶ城」

CONTENTS

- 対談 [岩村明憲氏×矢野英治氏] P2~P7
- 平成29年度通常総会 P8
- 平成29年度活動計画 P9~11
- 福島県の花 P12~13
- 看護連盟活動報告 P14
- 連盟クイズ P15
- 今後の予定 P16



福島ホープス（株式会社） 福島県民球団
球団代表 選手兼監督

岩村明憲氏

福島県看護連盟

対談

矢野英治氏

福島県看護連盟 広報委員
(総合南東北病院看護師長)



日本のプロ野球から、メジャーに移籍し活躍された岩村明憲氏は、現在、プロ野球BCリーグの福島ホーブスの選手兼監督として、福島県民に頑張る姿を見せてくれています。野球と看護、職業は異なりますが、チームで動いていることは同じであり、また、監督・師長としてチームをまとめていく立場として共通するところは多くあります。

リーダーシップやチームワーク、また、福島の子どもたちへの思いなどを、お一人に語っていただきました。

チームワークをとるために

矢野… 本日はよろしくお願ひします。

私は、南東北病院で、病棟の看護師長をしていました。女性の多い職場で、個性もいろいろでまとめるのが難しいです。野球も、個人の実力だけでなく、チームをまとめないと勝利、そして優勝に結びつかないと思うのですが、チームをまとめるということではどうされていますか。

岩村… そうですね。野球の場合、基本的に1人だけじゃ絶対に勝てないので、もちろん引っ張つていて力も大事です。ただ、野球は9人、もしくはベンチにいるバックアップの人も含めて、やっぱり全員が同じ方向を向いてないとどうしても勝

利、ましてや、優勝には結びつかない。いろんな野球観を持っている人がいっぱいいるんですね。なので、その人たちをどういうふうにしたら同じ方向を向いてくれるか、その人の持っているものはどうやって引き出すかというのをいつも考えていますね。

矢野… 指導するということでは、影響を受けた監督つてありますか。

岩村… 影響というよりも、野村監督から始まり、若松監督、古田監督、アメリカのジョー・マドン、星野監督、WBCでは1回目が王監督で、2回目が原監督と、監督だけじゃなくて、選手時代もすごかつた方々で、この人たちの今なら当てはまるのは何かなと考えます。やっぱり時代つて流れているので、昔やっていたことが今ここに当てはまるかというと、当ではまらないのがすぐある。特に若い選手は非常に難しくて、僕たちは1を聞いて10を知るという時代だったんですが、今の子たちは7から8聞かないと10を、答えを出してくれない。特にこの独立リーグの場合は、プロ野球選手になりたいと思っていなければうちで野球をする資格はないんです。必死にやつてもがき苦しんでいる姿に、福島の人たちは応援してくれるんじゃないのかというところなんですね。

矢野… 私も、なかなかこっちの思いが通じないことがあります。5とか6まで教えても、通じないことが多いのですが、そうゆう時も自主性に任せたほうがいいのかと迷うことがあります。

岩村… 極論ですけれども、自主性が出せない人に 대해서は、一緒になつてやつてやることもしようがないかなと思います。

子供たちにもっと外で遊んでほしい

矢野… 私たちの時代というのは、野球といつたら男の子は全員あこがれだつたんですね。みんな野球をやつていました。でも、今の子供はあまり外出することが少ないですよね。

岩村… 少ないです。外に出ることが少ない子をどうやつて引っ張り出すかというのは、またこれも難しいですね。なんで難しいかというと、やつぱり6年前の東日本大震災が大きく影響しています。外で遊べないからしようがないで終わらせていてはダメで、この福島で一番やらなければいけなと思うんですよ。外がダメなら室内でしつかり遊びができる事をしなければ。今の子供たちに肥満児が多いというのは現実問題でもあります。

矢野… そうなんです。データでそういうふうに出ていますから。

岩村… 今は、外で野球やサッカーをやつている子も多いですね。でも、肥満児が多いのは、遊びたい盛りだつた子どもたちが「出るな」と言われた時

これからの子どもたちに夢を

矢野… 子供が目指すものを、スポーツを通して考えていけたらすごくいいと思っています。

岩村… そうですね。何のスポーツもそうですが、プロの選手を見て、子供たちがスポーツをしていることが多いわけですから。でも、最近の子に聞いたときに愕然とした答えが来たのは、公務員になりたいと。公務員を否定するつもりもないのですが、もう少し違うことを考えてみる部分もあると思うんですね。

岩村明憲選手兼監督●プロフィール

1996年ヤクルトスワローズからドラフト2位指名を受け入団。2000年には「ゴールデングラブ賞」を受賞。翌年にはオールスターゲームに出場。2006年、2009年にはWBCの日本代表。2007年メジャー移籍し、デビルレイズのリーグ優勝に貢献。日本球界に戻つてからは、楽天、ヤクルトを経由し、2015年から独立リーグ福島ドームスの選手兼監督として現在活躍中。



岩村… 本当にそうです。今、東京なんかでは校庭で遊

ね。親も子供の健康のことを考えてのことだと 思いますが。ただ、自治体がもう少し早く、安心して外で遊べる環境、もしくはそういう施設を つくつてあげることだったでしようね。この子たちがいないと未来の福島県はないわけですか

矢野… はい。たぶん目標が高ければ高いほど努力すると思うのですが。

岩村… はい。たぶん目標が高ければ高いほど努力す

ると思います。親も子供の健康のことを考えてのことだと 思いますが。ただ、自治体がもう少し早く、安心して外で遊べる環境、もしくはそういう施設を つくつてあげることだったでしようね。この子たちがいないと未来の福島県はないわけですか

矢野… そうなんです。震災後は、公園から子供の声が

全く聞こえませんでした。外で遊ばせられなかつたんです。やっぱり子供が外で元気に遊ぶ声がないと、町に活気が出ませんね。

岩村… でも、愛媛県の松山市には昔の松山市営球場という大きな球場があつたんですが、これを壊して公園になつたんです。この公園は、キャッチボールOKという条例をつくりました。考え方次第ですね。福島県も、そういうことをもう一回考えたほうがいいと思いますね。

矢野… 全く聞こえませんでした。外で遊ばせられなかつたんです。やつぱり子供が外で元気に遊ぶ声がないと、町に活気が出ませんね。



ている間に、もう少し明確に目標、夢というものを持つてみたらどう?と言いました。そうしたら終わる頃には本当に5分の4以上は手を挙げてくれたんですね。こういう話をして、少しでも変わってくる部分はあると思うので。なんとか手を差し伸べられる環境をつくつてあげたいです。

矢野…子供は、夢をもつて、その夢に向かつて頑張る。途中で挫折するということもまた、経験です。ただ与えられたもの、線を引かれたものを行くというのでは寂しいですね。

岩村…そうですね。本当に自分で考えて自分でこうなりたいと思った子供たちは、努力の仕方が違いますね。スポーツの場合には、試験のときみたいに突貫工事でできるものではなくて、地道に経験と練習と努力を重ねて前に進んでいくというふうじやないと、なかなか上には行けないので。

矢野…そうですね。子供たちがそうやって頑張つていると、大人も頑張れるというのもあると思うんですよ。

岩村…大人も逆に刺激を受けますね。

福島ホープスの役割として、例えば皆さんも多かれ少なかれストレスを持つている。野球を見に来た人たちが、ここでそのストレス発散をして、気持ちよく帰つてもらうということでもあるんですね。だから、ただ野球をするのではなくて、福島県民の方々のためにどういうふうにしなければいけないかという部分なんですね。地方創生と言われますが、地方がつくつていかなればいけない部分、地方にしかできない部分をやつしていくためには地域密着というものがすごく大事です。我々、福島ホープスのみならず、ファイアーボンズであつたり、福島ユナイテッドFCであつたり、アイスホッケーのチームだつたり、結局、プロと呼ばれる団体のスポーツの部門をうまく使って、全国的に発信できたら、もっともつと今の福島は元気ですよというのが伝えられるのかなと思っています。

岩村…そうですね。言葉ひとつで、信じる、信じないつを変わってきますよね。

矢野…そうだと思います。スタッフに向けても、患者さんに向けても、たつたひとことで信頼関係がなくなってしまうということはあるので、言動には十分注意しています。

岩村…僕は、なるべく自分の物差しを人に当てはめないようにしようとは心がけてはいるんです。選手たちの気持ちも尊重します。僕の好きな言葉で「お互いに尊重しあう」という“Respect for each other”という言葉があるんですけども、これは監督と選手の立場であつても同じなんですね。それこそ砂漠の中にオアシスがあつて、オアシスのところまでは連れていってくれども、そこで水の飲み方は教えない、それぞれの考え方で飲みなさいと。だけど、とりあえず道しるべとして上に立つものはここまで連れてくることはできます。

相手との信頼関係が大事

矢野…所属長になると、患者さんも守らないといけないんですけども、スタッフも守らなければならない。何かあつたときに、そういう態度でいかないと、スタッフがついてこないんですね。あと、医療は患者さんとの信頼関係から成り立っています。信頼関係があつて、お互い納得の医療、

納得の治療ができるこそ、病気が治るということがありますね。

岩村…相手を信じられるからこそ信頼関係ができ、その病院に行ける。この信頼関係というのはすごく大きな部分ですよね。その信頼関係を築くのはやつぱりコミュニケーションなのかなと思ってます。

矢野…そうですね。南東北病院はハード面はたくさんありますね。だから、ただ野球をするのではなくて、福島県民の方々のためにどういうふうにしなければいけないかという部分なんですね。地方創生は成功しないと思っています。

岩村…そうですね。言葉ひとつで、信じる、信じないつをやつしていくためには地域密着というものがすごく大事です。我々、福島ホープスのみならず、ファイアーボンズであつたり、福島ユナイテッドFCであつたり、アイスホッケーのチームだつたり、結局、プロと呼ばれる団体のスポーツの部門をうまく使って、全国的に発信できたら、もっともつと今の福島は元気ですよというのが伝えられるのかなと思っています。

岩村…僕は、なるべく自分の物差しを人に当てはめないようにしようとは心がけてはいるんです。選手たちの気持ちも尊重します。僕の好きな言葉で「お互いに尊重しあう」という“Respect for each other”という言葉があるんですけども、これは監督と選手の立場であつても同じなんですね。それこそ砂漠の中にオアシスがあつて、オアシスのところまでは連れていってくれども、そこで水の飲み方は教えない、それぞれの考え方で飲みなさいと。だけど、とりあえず道しるべとして上に立つものはここまで連れてくることはできます。

プロ意識を持つということ

矢野… スポーツ選手って、実力・能力がないと落とされるということがありますけれども、看護師は1回免許を取ると一生のものになります。だから、すごく頑張る人もいればそうでない人もいる。野球の場合は、そうでない人たちにどういうふうに教育していますか。

岩村… 難しいですよね、福島ホープスの場合は教育の場ではなく、プロ集団だと思っています。球場に足を運んでくれるお客さんは何を求めているか。チケットを買って見に来て下さっている。お金を払っているからプロらしい試合を見せてくればよと思うのが当たり前なんですね。病院も同じだと思います。患者からすると白衣を着ている人はみんな看護師であり、医療従事者のわけで、その人しかいなければ、その人にアドバイスを求めます。

矢野… そうですね。白衣を着れば新人もベテランも一緒ですから。

岩村… それがプロ意識だと思うんです。プロ意識が薄い人には、もつとやる気を出させるような指導が必要です。それには相手の性格を知りそれにあつた指導をしていかないとダメだと思います。

矢野… そうですね。最後に、今、スター選手はみんな大リーグに行ってしまいます。岩村監督も行かれましたが、大リーグに行くことをどう考えていましたか。

岩村… 僕は、行つて帰つてくれればいいと思いますよ。



矢野… 黒田選手みたいに。

岩村… はい。いろんなことを経験して、いろんなことを日本の球界に還元する、それが使命だと思います。もちろん、向こうで引退することもあると思いますが。僕はアメリカに挑戦するのはすぐ大事なことだと思います。ただ、メジャーに行つた選手は、また戻ってきて日本でやる。僕はそういう思いがあるからこそ、この楽天にも戻ったし、ヤクルトも行つて、今、この福島ホープスでもやらせてもらつてているというところです。

矢野… そうですか。そういう考え方もありますね。最後に看護職の皆に対して一言いただけますか。

岩村… それぞれの、お客さん、また、患者さんに付するということだけでなく、一緒に働いているスタッフのモチベーションをどうやって高めるかということは、大きな課題だと思います。僕は選手に、プレーしている自分が楽しくないと見ているお客さんはつまらないよと言つています。看護師

さんも、笑顔ばかりとはいませんが、明るく活気があれば、そこにいる患者たちもたぶん頑張る力が出てくるんじゃないかなとネガティブな中でも光が見えるんじゃないかなと思いますね。ぜひ、頑張って下さい。

福島ホープスのリーグ優勝を祈つて、これらも応援していきますので頑張つて下さい。今日は、どうもありがとうございました。





2017シーズン 福島ホープス ファンクラブ会員特典

その応援が
ホープスを
強くする。

ジュニア会員 ※中学生以下

2,500円

レギュラー会員 ※高校生以上

10,000円

法人会員

50,000円

レディース会員 ※女性限定

5,000円

VIP会員

30,000円

法人VIP会員

100,000円

会員種別		ジュニア	レディース	レギュラー	VIP	法人	法人VIP
試合	先行入場 (5~10分前)	●	●	●	●	●	●
	前売り	●	●	●	●	●	●
	年間パス				●	●	●
	チケット進呈		2枚	5枚	5枚	10枚	30枚
福島ホープスオリジナルグッズ	会員カード	●	●	●	●	3枚	5枚
	年賀状				●	●	●
	ピンバッジ	●	●	●	●	●	●
	トートバッグ	●	●	●	●	●	●
	プレスレット※		お好きなグッズを2種お選びください				
	カンフーメガホン※	●	お好きなグッズを2種お選びください				
	チケットホルダー※		お好きなグッズを2種お選びください				
	カーステッカー	●	●	●	●	●	●
	タオル	●	●	●	●	●	●
	応援Tシャツ		●	●	●	●	●
	ぬいぐるみ (キーボー、ノゾミンの2種)		どちらか 1種	どちらか 1種	2種	2種	
	タンブラー			●	●	●	2個
その他	HP掲載			●	●	●	●

福島ホープスオリジナルグッズ ※画像はイメージです。

ピンバッジ	トートバッグ	ぬいぐるみ
ブレスレット	カンフーメガホン	チケットホルダー
※プレスレット、カンフーメガホン、チケットホルダーにつきましては、3種の中からお好きな2種をお選びください。		
タオル	応援Tシャツ	タンブラー

■2017年ルートインBCリーグ福島ホープス公式戦日程

6月1日～(県内試合のみ)

月日	曜日	対戦	球場	開始時間	月日	曜日	対戦	球場	開始時間
6月4日	日	福島 - 栃木	開成山野球場	13:00	8月3日	木	福島 - 巨人	開成山野球場	18:00
6月10日	土	福島 - 群馬	あいづ球場	13:00	8月4日	金	福島 - 巨人	開成山野球場	18:00
6月11日	日	福島 - 栃木	あいづ球場	13:00	8月5日	土	福島 - 巨人	あづま球場	13:00
6月17日	土	福島 - 群馬	開成山野球場	13:00	8月6日	日	福島 - 新潟	あづま球場	13:00
6月30日	金	福島 - 群馬	開成山野球場	18:00	8月12日	土	福島 - 新潟	あづま球場	13:00
7月1日	土	福島 - 栃木	開成山野球場	13:00	8月13日	日	福島 - 石川	牡丹台野球場	13:00
7月7日	金	福島 - 新潟	ほばら大泉野球場	13:00	8月20日	日	福島 - 群馬	白河グリーンスタジアム	13:00
7月12日	水	福島 - 武蔵	ほばら大泉野球場	13:00	8月25日	金	福島 - 群馬	あづま球場	13:00
7月23日	日	福島 - 武蔵	開成山野球場	13:00	8月27日	日	福島 - 信濃	いわき南部スタジアム	13:00
7月28日	金	福島 - 栃木	牡丹台野球場	13:00	9月3日	日	福島 - 栃木	白河グリーンスタジアム	13:00
7月30日	日	福島 - 富山	しらさわグリーンパーク	14:00	9月10日	日	福島 - 武蔵	開成山野球場	18:30

株式会社 福島県民球団 福島ホープス

お問い合わせ

HP <http://fukushima-hopes.com/> Mail info@fukushima-hopes.com

TEL.050-3385-0134 FAX.024-927-5866

会員の皆さまのご参加をお待ちしております!



平成29年度通常総会は 6月17日(土)です。

場所:郡山商工会議所6F 住所:郡山市清水台1-3-8

平成29年度

福島県看護連盟通常総会プログラム

12:45 受付

13:20 オリエンテーション

13:25 国政報告会開会

挨拶 福島県看護連盟会長 本内敦子

13:30 国政報告 参議院議員 石田昌宏先生

14:30 閉会

----- 休憩 -----

14:40 総会開会

物故会員への黙祷

挨拶 福島県看護連盟会長 本内敦子

来賓祝辞

来賓紹介

15:15 議長団選出

15:20 報告事項

平成28年度通常総会報告

平成28年度諸会議報告

平成28年度活動報告

平成28年度会計報告

平成28年度監査報告

15:50 審議事項

第1号議案 平成29年度スローガン(案)

第2号議案 平成29年度活動計画(案)

第3号議案 平成29年度予算(案)

第4号議案 役員改選(案)

自由民主党福島県支部連合会看護連盟支部報告

新役員・退任役員挨拶

綱領宣言

連盟の歌齊唱

16:30 閉会

※プログラムは都合により変更されることがあります。

平成29年度活動計画(案)



- ① 力強い組織の確立
② 成熟・自立した活動

I 組織の強化・拡大

目標	活動	活動内容
1 施設・支部・県・本部の連携強化	1) 定例会議等を通して本部・県の連携の強化、情報の共有を図る 2) 県・地区・支部間の意見交換を通してそれぞれの活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護連盟通常総会(6/15) ・全国会長会出席：年3回（4・6・1月） ・ブラック別会長会：年1回 ・全国会長・幹事長・支部長合同会議(6/15) ・都道府県別会議(10/21) ・福島県看護連盟通常総会(6/17) ・県役員会：年10回程度 ・県役員・支部長合同会議：年3回程度 ・青年部委員会：年3回程度 ・各地区・支部・施設での定例会議の実施
2 看護連盟・看護協会との連携・協働	1) 県看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・協会・連盟合同役員会を年1回、他に隨時事務局同士の懇談会を行い情報交換する ・看護協会とともに陳情・要望活動を行い議員及び行政へ提出する ・合同研修会を行う
3 連盟活動の理解と周知を図る	1) 会員への情報提供を行う 2) 参加しやすい研修を行う <ul style="list-style-type: none"> ①連盟役員に対する研修 ②会員対象研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「りれい」を年2回、臨時号1回発行 ・ホームページ・フェイスブックによる情報発信を隨時行う ・施設訪問を行い情報提供と現場の声を聞く ・会員・非会員ともに出席できる研修を実施し、参加率を上げる。 ・県・地区・支部・施設とそれぞれで研修を行い、看護職が年1回以上の何らかの研修に参加できるよう働きかける。 ・それぞれの研修において、連盟の役割と看護職代表議員の活動を伝えるようにする。 (ハンドブックやDVDを利用) ・新役員・新支部長研修1回/年 ・支部長研修1回/年 ・支部役員研修（支部幹事・病棟連絡員・青年部委員等）2回/年（県主催1回、地区・支部で1回） ・看護管理者セミナー1回/年 ・若手会員研修1回/年 ・一般会員研修1回/年以上 ・地区・支部ごとの研修1回/年以上 基礎研修 続・基礎研修 一般・若手・O B研修 ・国会見学の実施
4 会員数の増加を図る	1) 29年度内に会員60名増員し、6,900人を目指す。 役員・支部長が中心となり、看護部長、支部役員等の協力を得る 2) 学生会員を年度内に70人増やす 看護学校の教員の理解と協力を得る	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度数より各支部2~3名の会員を増やす ・非会員への入会働きかけ、特に役職になっている看護職への働きかけをする。 ・新入職員のオリエンテーションと、連盟入会を勧める。 ・退職時の退会を防止し、個人会員やしゃくなげ支部会員としての継続加入を勧める ・地区役員・支部長と共に学校訪問をして広報活動と共に、連盟への入会を勧める

目 標	活 動	活 動 内 容
5地区・支部の活動強化	1) 地区幹事・支部長・支部幹事・病棟連絡員・青年部委員等の自主性促進を図る 2) 青年部委員の活動強化を図る 3) 支部役員のモチベーションの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの役割を研修や会議を通して伝え理解を得る。 ・支部長は、支部幹事や病棟連絡員が役割を果たせるよう支援と育成をする。また、支部長の補佐を地区役員が行う。 ・役割を果たせるリーダーを増やす。 ・県青年部委員の役割を理解し行動する ・地区の地区役員や青年部委員と連携を図る ・ブロックポリナビの協力と、県・地区・支部における若手会員の研修等を積極的に行う ・新役員・支部長・支部役員それぞれ対象別の研修を行う。 ・県・地区での議員との懇談会を開催し、現場の意見を伝える
6他の組織との連携・協働	1) 医療・介護関係団体との交流の促進 2) 支援企業・団体との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・研修・施設訪問などで現場の声を収集する。 ・議員との懇談会などに積極的に参加し、現場の声を届ける。
7現場の課題への対応	1) 役員会で現場の声を集約し、中央役員会、国会議員等へ届ける	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の声を中央役員会、看護職代表議員に届ける。 ・届けた声の進捗状況を確認する。

II 政治力の強化

目 標	活 動	活 動 内 容
1看護政策の実現	1) 看護政策実現に向けて県看護協会と連携を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の声を把握し、看護協会と共に要望書を作成し、行政・議員等へ提出する ・議員の政策説明会などに参加する
2看護職国会議員の支援	1) 4人の国会議員の名前と活動を伝える 2) 第25回参議院選挙に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブックなどから議員の活動を知るよう伝えていく ・支部長を通して、議員の活動を支部会員に伝える ・候補予定者決定後は、早くから会議や研修を通じて、知名度を上げる ・候補予定者の活動情報をSNSなどから得られるよう働きかける（メールアドレスの登録を勧める） ・政治アカデミー修了者と共に青年部の活動を活発にする
3看護を理解する国会議員地方議員との連携を進める	1) 自由民主党福島県支部連合会との連携 2) 看護問題に関する懇談会を行う 3) 県選出の国会議員との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民主党福島県支部連合会事務局と連携をとり、議員との交流を深める。 ・自由民主党福島県支部連合会から案内の集会等には積極的に参加し連携強化に努める ・議員との懇談会などに積極的に参加し現場・県議会役員議員との懇談会を年1回開催する ・他に地区ごとの懇談会を開催する ・国・地方議員が開催する集会等に参加し、意見交換をする ・国・県・市町村選挙を積極的に支援する

III 会員の福祉

目標	活動	活動内容
1 慶弔への対応	1) 規約に基づき対応する	・災害見舞い、物故会員への弔慰、受賞者へのお祝い
2 災害対応	1) 東日本大震災による浜通り被災地の支援をする 2) 災害発生地への支援	・被災地の現場の声を国会議員に届ける ・必要な支援の協力をする
3 諸問題への対応	1) 専門家との相談の上、速やか問題解決する	・本部との連携により問題解決する

第3号議案

平成29年度 予算(案)

平成29年4月1日～
平成30年3月31日

■ 収入

(単位:円)

項目	本年度予算額	備考
I 会費	14,000,000	
会員会費	13,800,000	2,000円×6,900名
賛助会費	200,000	500円×400名
II 本部助成金	17,000,000	本部より支部運営助成金・研修会助成金等
III 預金利子	500	
前年度繰越金	8,037,180	
合計	39,037,680	

■ 支出

(単位:円)

項目	本年度予算額	備考
I 会議費	3,400,000	
総会費	1,000,000	県総会費
支部長会費	1,000,000	年3回以上開催
役員会費	1,000,000	月1回開催
委員会費	400,000	青年部委員会4回、広報委員会6回
II 事業費	17,700,000	
組織対策費	8,000,000	組織活動費、本部総会・会議出席費等
教育費	3,000,000	研修会費
慶弔見舞金	200,000	慶弔・見舞い関係費
機関誌発行費	1,500,000	福島県看護連盟だより年2回、臨時号年1回(諸経費等)
支部交付金	5,000,000	支部活動費、支部研修費
III 運営維持費	16,600,000	
人件費	12,000,000	職員給与費・退職金積立等
光熱費	300,000	電気・水道・ガス
通信費	700,000	郵便代等
備品・消耗品費	600,000	備品・事務用品等
事務所費	3,000,000	事務所維持費
IV 予備費	1,337,680	
合計	39,037,680	

福島県の花



平成29年4月16日撮影

「夜の森のさくら並木」

29年4月1日より富岡町の避難指示が一部解除になりました。そして、夜の森のさくらのトンネルも帰還住民を出迎えるように咲きました。

夜の森地区には約2,000本の桜があり満開時期にはそれは見事な桜のトンネルとなります。しかし、それを見られるのはまだ一部にとどまっています。途中からはバリケードがあり立ち入り禁止が続いていました。

早く全域が避難解除になることを祈っています。



* 相双地区の医療状況

相双地区の医療は依然深刻な状況が続いている。相馬地区では、看護職員数は、平成23年3月1日時点では、791人だったのが、28年1月1日では619人。病院も人材不足のため全面稼働できず、一部の稼働となっているところもあります。双葉地区は、23年3月1日時点での看護職員数は397人、28年1月1日現在は88人となっています。平成30年には県立双葉医療センター(仮称)の開院が進められており、2次救急体制が整備される予定ですが、現在はまだ1病院のみの稼働となつたままで。

看護連盟は、これからも、それぞれの地域が抱える看護の課題を県議会議員、国会議員の皆さんに伝えていきます。

福島県花の観光スポット

「ひめさゆり」

ひめさゆりは、福島県、新潟県、山形県、宮城県の限られた場所にだけ自生する大変貴重な植物です。咲く時期は、場所やその年の気候によって多少異なりますが、6月から7月初旬です。

県内の群生地は、南会津の高清水自然公園、南郷スキー場、熱塩加納村が有名です。



「あじさい」

あじさい寺と呼ばれている二本松市にある高林寺。

境内には約30種類5,000株の色とりどりのあじさいが植えられており、あじさい寺と呼ぶにふさわしいお寺です。また、周辺の市道は1万株のあじさいがあり、およそ4kmにも及ぶあじさいロードとなっています。

ちなみに、故石原裕次郎7回忌法要には祭壇にこのあじさいが使われたそうです。また、この光林寺と並ぶあじさいの有名なお寺が、須賀川市の古寺山白山寺です。ここも30種類6,000株のあじさいが植えられています。あじさいと共に参道の松並木も見事なお寺です。



「ひまわり」

ひまわりは真夏の太陽のもとで咲く、明るく元気なイメージの花です。

県内でも向日葵の名所はいろいろとあります。ここでは、喜多方三ノ倉スキー場の向日葵を紹介します。スキー場の斜面一面に咲く黄色の向日葵は圧巻です。全部が同時期に満開というのではなく、斜面ごとに咲く時期が少しずつずれているので、長い期間楽しめるとと思います。ぜひ一度足を運んではいかがでしょうか。



看護連盟活動報告

一般研修会

- 平成29年2月4日 10:00~12:30
- ビッグアイ郡山7階
- 参加人数 181名
- 講演 テーマ「看護の現場を良くするため」
- 講師 日本看護連盟副会長 佐藤エキ子先生
- 国政報告 参議院議員 たかがい恵美子先生

佐藤エキ子先生から、分かり易く看護の現場と政治の関わりや、連盟の役割など話していただいた。たかがい先生の話からは、国政でのご活躍の様子をうかがうことができた。両方とも身近に考えることができる内容で、連盟活動の理解も得られたのではないかと思いました。



新年交礼会

- 平成29年2月4日 13:00~15:00
- 郡山ビューホテルアネックス
- 参加人数 91名

たかがい議員、佐藤エキ子日本看護連盟副会長を始め、県選出国会議員・県議会議員・友好団体代表者たちをお招きして、新年交礼会を行いました。地区ごとに県議会議員の先生方とテーブルを囲み、親睦を深めることができました。



県議会議員の役員の方々と連盟役員の懇話会

- 平成29年3月6日 17:00~18:00
- 福島市ホテル辰巳屋
- 県議会議員 13名
- 看護連盟 15名

「県議会議員と看護を考える会」と名称を改めての第1回目の会合を行いました。

看護の現状を病院と在宅代表して3名が話をして、その後フリートーキングとなりました。今後は、それぞれの地区で会合を持つことで一致し、活動の方向性をつけることができました。



全国会長会及び看護問題対策議員連盟総会

- 平成29年4月14日 10:00~16:00
- 参議院議員会館

会長会では、6月の総会に向けて活発な意見が交わされました。また、4人の自民党看護職国会議員の先生方が挨拶に来てくれました。看護連総会の場では、草間連盟会長・坂本協会会長から「地域包括ケアシステムの推進に関する要望書」が伊吹文明会長に手渡されました。



第2回連盟クイズ

前回当選された方おめでとうございます。「美味しい果物が食べられた」「4コママンガが面白い」と好評をいただきました。前回応募しなかった方は、是非今回は応募して下さい。ここだけの話ですが、果物は郡山で高級なフルーツを扱っているお店からお届けします。担当者一同、皆さんのご応募お待ちしています。

問

この人は誰でしょう。

下記の略歴を読んでお答えください。

略歴

1967年 奈良県大和郡山市生まれ。

1990年 東京大学医学部保健学科卒業。聖路加国際病院、東京武蔵野病院に勤務

1995年 日本看護協会で政策企画室室長として勤務

2002年 日本看護連盟幹事長として様々な看護に関する政策提言などを行った。

日本看護連盟政治アカデミーの開講、青年部の立ち上げなど若い世代の政治への関心を高めるための中心的役割を果たした。

第23回参議院議員通常選挙にて看護職の代表として立候補し比例区(全国)で初当選、参議院議員となった。

2013年 看護職であり、医療福祉政策に強い男性看護師国会議員です。

<趣味>魚の飼育(特に金魚)と神社巡り。



答えを①～④の中からお選び下さい。

①石川まさひろ ②石山まさひろ ③石田まさひろ ④石海まさひろ

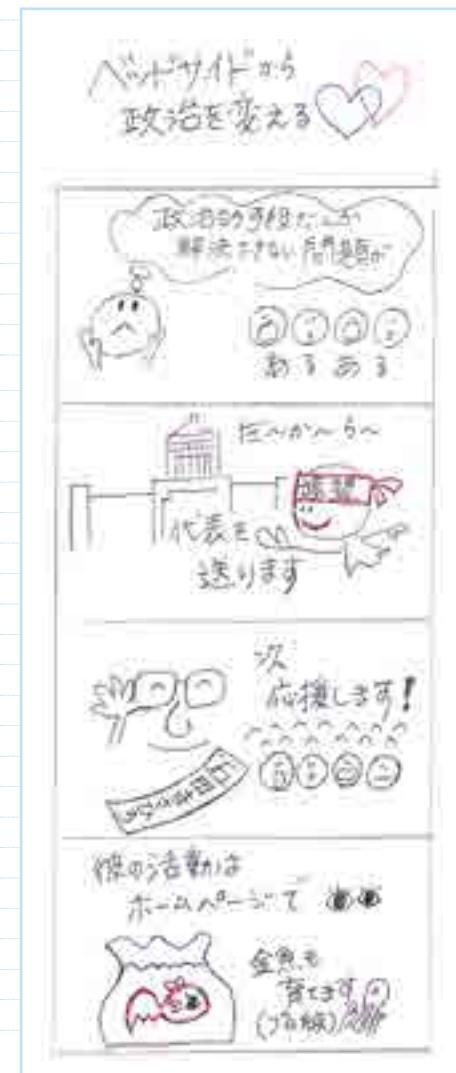
応募方法 ● このページのQRコードからアクセスするか、ハガキにて必要事項をご記入の上ご応募ください。また、今回は6月17日の総会会場においても応募できます。

＜必要事項＞ ● 1. クイズの答え①～④の番号を記入 2. 郵便番号 3. 住所 4. 氏名
5. 電話番号 6. 勤務先

応募宛先 ● 〒963-8871 郡山市本町1-19-8生田目ビル1階 福島県看護連盟
締切 ● 平成29年6月30日(金)当日消印有効

当選発表 ● 7月中旬に商品を発送したうえで、次号の広報誌にお名前を発表いたします。

※当選者は福島県内に勤務または在住の方に限らせていただきます。
会員・非会員は問いません。



●りれい33号クイズ当選者

クオカード／滝田和子様 神山有沙様 遠藤仁美様

フルーツ／佐藤トシ工様 吉田美智子様 神山隆子様 佐藤優様
吉田絵理子様 安藤咲希様 佐藤恵子様

以上の皆様でした。おめでとうございます。

商品は2月中旬に発送いたしました。

●今後の予定●

6月15日(木) 平成29年度日本看護連盟通常総会 東京プリンスホテル 12:30～15:00	7月7日(金) 北海道・東北ブロックポリナビワークショップ
6月17日(土) 平成29年度福島県看護連盟通常総会 郡山商工会議所13:30～16:30	7月14日(金) 新役員・支部長研修 看護会館みらい 10:00～ 役員・支部長合同会議 看護会館みらい 13:00～
7月4日(火) 広報委員会 看護連盟事務所 14:00～	7月25日(火) 青年部委員会 看護連盟事務所 14:00～
7月6日(木) 県役員会 看護連盟事務所 13:30～	9月12日(火) 支部長研修 看護会館みらい 10:00～

◎表紙写真◎

「鶴ヶ城」

つるがじょう

鶴ヶ城は今から約630年ほど前に、その前身ともいえる東黒川館を葦名直盛が築いたのがはじまりと言われ、戊辰戦争では約1ヶ月に及ぶ激しい攻防戦に耐えた名城として、その名を天下に知らしめました。

明治7年に取り壊されましたが、昭和40年に再建、平成13年には天守閣に続く建物「干飯櫓・南走長屋」が江戸時代の工法・技術を用いて復元されました。天守閣の内部は郷土博物館となっており会津の歴史に触れることができます。平成23年には赤瓦へのふき替えが完了し幕末当時の姿を再現し、現存する天守閣では国内唯一の赤瓦の天守閣となっています。



「参議院議員 石田まさひろメールマガジン」メルマガ編集部
info@masahiro-ishida.jp にアクセスして登録しましょう

産業技術総合研究所と理化学研究所で、これまでのAIの研究開発の成果についての話や山口県長門市の青海島の話し。もちろん専門の看護や介護の話も満載です。必ず興味のある話があると思います。また、事務所の五反分さんによる「陽当たり良好通信」はいつも心温まる話しが紹介されています。勉強会の案内、国の政策等がいち早く知ることが出来、看護部の方向性にも活かせると思いますので是非登録してみて下さい。

平成29年度会員募集中!

更新・新規入会受付を行っています。

正会員 年会費 7,000円

本部会費 5,000円

県会費 2,000円

賛助会員 年会費500円

看護連盟の趣旨に賛同して
いただける方

学生会員 年会費無料

看護学生の方

編 集 後 記

今年度の活動が始動します。地道な活動が実になります。日々の、一人ひとりの一歩・一球・一コマ・一声をチームに繋げていくことで、大きな実に育てられればと思います。
(仲村)

●広報委員メンバー

委員長 仲村 和子(福島県立医科大学附属病院)

委 員 本多 文子(公立藤田総合病院)

委 員 矢野 英治(総合南東北病院)

委 員 関根 美保(公立岩瀬病院)